



ほけんだより

~すくすくげんき~



視力検査のお知らせ

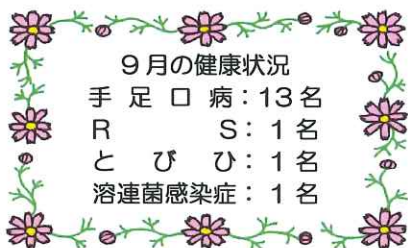
らいおん組：10月15日(火)
とら組：10月16日(水)
ねこ組：10月17日(木)



上記の日程で、幼児の視力検査を行います。園で行っている視力検査は園児の気持ちや集中力等に左右されるため、あくまでも目安としてお考えください。

結果は健康ノートに記載し月末に返却致します。気になる点がありましたら、眼科で詳しく診てもらうことをお勧めします。

また、ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡ください。



9月の健康状況

手足口病：13名
R S：1名
とびひ：1名
溶連菌感染症：1名



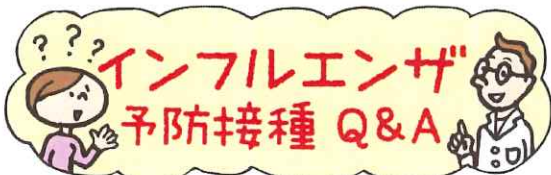
手足口病にご注意を

手のひら、足の裏、口の中に小さな(米粒大)の発しんや水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることも。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起したりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普通の食事ができるようになったら。

保護者記載の登園届の提出をお願いします!



インフルエンザ 予防接種 Q&A

かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい?

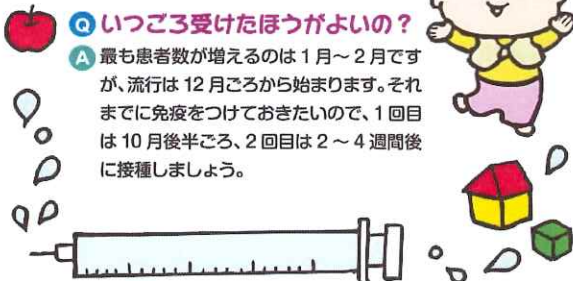
A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

Q 受けるとインフルエンザにかからないの?

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起したりするリスクを減らすことができます。

Q いつごろ受けたほうがよいの?

A 最も患者数が増えるのは1月~2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2~4週間後に接種しましょう。



全園児健診のお知らせ

10月24日(木)に、いしがき医院の先生による全園児健診があります。ご都合でお休みの予定の方は、事前にご連絡をお願いします。



10月10日「目の愛護デー」

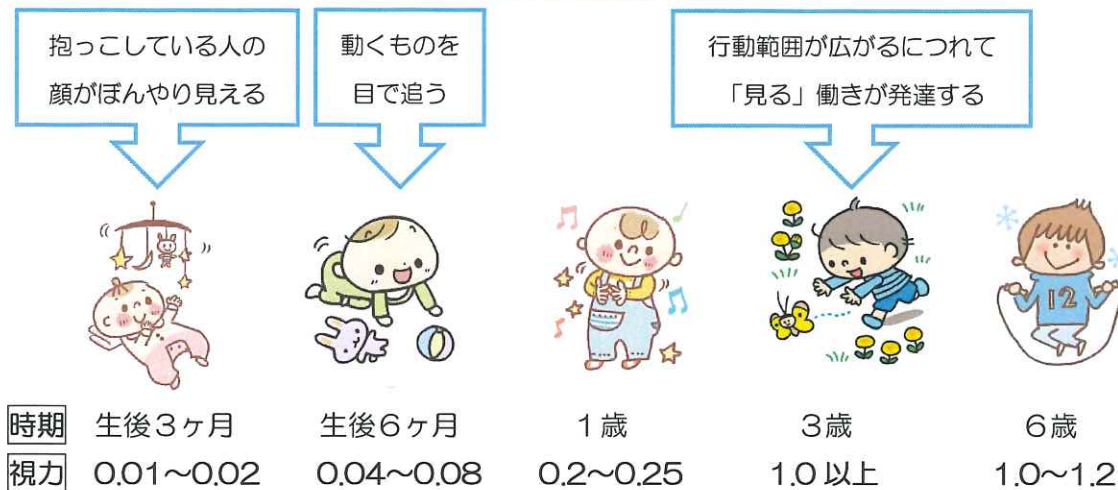
幼児期は視力が発達する大切な時期です。この時期に、テレビやタブレットを見過ぎたり、ゲームをやり過ぎたりすることは、視力の発達を阻害する原因になってしまいます。「目の愛護デー」を機に、家庭で視力を守る為に、①離れて見ること、②時間を決めること、③姿勢を正して見ること、に気をつけて過ごしましょう。

10月10日



目の愛護デー

見る力の発達について



日々発達しているこどもの目

目はカメラと同じで網膜に像をうつしますが、それだけでは物は見えません。その像が視覚伝導路によって大脳に伝えられ、はじめて見ることができます。視覚伝導路は生まれた時は未完成で、常に物を見て刺激を与えられることによって発達します。赤ちゃんは毎日、自然に物を見る訓練を積み重ねて、だんだん見えるようになるのです。



こんな時はお医者さんに相談しましょう

下記のような症状が続くときや、視力検査の結果が良くない場合は、斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは自身の目の異変を自覚できないことも多いため、眼科で一度相談してみましょう。

- 目を細めて見ている
- 片目をつむって見ている
- ボールなどを受け取ることが苦手
- 目をよくこする
- 目やにが増えた
- いつもまぶしそうにしている
- 頭を傾けたり横目で見たりする
- 目がよっている。目つきが悪い

